

## 平成21年度における総合評価方式の実施状況について

対象工事…平成21年4月～21年10月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項 目	H20				H21				備 考	結 果
	特別 簡易型	簡易型	標準型	計	特別 簡易型	簡易型	標準型	計		
1. 対象件数(件)	172	176	34	382	621	197	23	841		
低入札価格調査 制度適用	164	161	23	348	617	180	9	806		
施工体制事前 提出方式	8	15	11	34	4	17	14	35		
2. 落札率(%)										<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度に比べると各類型とも高くなっている。</li> <li>・簡易型、標準型は平成20年度に比べて約2%以上高い。</li> </ul>
平 均	82.73	83.62	84.20	83.27	84.61	85.91	86.44	84.96		
最 高	99.28	99.93	91.31	99.93	99.79	99.95	97.38	99.95		
最 低	73.29	75.83	79.29	73.29	75.69	79.15	81.47	75.69		
※条件付一般競争 入札の平均				83.26				83.76		
3. 落札率(%) (制度別)										<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制事前提出方式の標準型の落札率が高い。</li> </ul>
低入札価格調査 制度適用	82.55	83.41	84.51	83.08	84.61	86.03	85.54	84.94		
施工体制事前 提出方式	86.39	85.87	83.55	85.24	83.64	83.61	87.18	85.46		
4. 入札参加者数(者)										<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件付一般競争入札と比べて少ないが、平成20年度の実績に比べるとわずかに多くなっている。</li> </ul>
平 均	5.6	5.0	6.1	5.4	6.0	5.2	5.0	5.8		
最 大	18	16	22	22	24	19	16	24		
最 小	1	1	1	1	1	1	1	1		
※条件付一般競争 入札の平均				8.0				9.1		
5. 入札参加者数(者) (制度別)										<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工体制事前提出方式の方が少ない。</li> </ul>
低入札価格調査 制度適用	5.6	5.2	6.6	5.4	6.0	5.1	6.3	5.8		
施工体制事前 提出方式	5.2	3.8	5.4	4.6	5.3	5.6	4.1	5.0		
6. 加算点(点)	特別 簡易 (10点)	簡易 (30点)	標準 (50点)		特別 簡易 (20点)	簡易 (35点)	標準 (55点)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各類型の平均点は昨年度とほぼ同水準となっている。</li> </ul>
平 均	6.3	15.6	22.7		11.8	20.1	26.2			
最 高	10.0	28.0	49.4		20.0	35.0	50.0			
最 低	0.0	0.0	3.0		0.0	1.5	2.0			

## 平成21年度における総合評価方式の実施状況について

### 対象工事…平成21年4月～21年10月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H20				H21				備考	結果
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
7. 価格逆転件数(件)									・価格が1位以外で落札者となった案件。	・平成20年度の結果と比べて、特別簡易型、簡易型で価格逆転件数の割合が増加している。
件数	76	100	25	201	381	122	14	517		
逆転件数/試行件数(%)	44.2%	56.8%	73.5%	52.6%	61.4%	61.9%	60.9%	61.5%		
8. 落札者の状況(件)	172	176	34	382	621	197	23	841	} 324件 } 656件 } 517件(価格逆転件数)	・(①, ②)価格が1位の工事は324件(全体の39%)となっている。 ・(①, ③)加算点が1位の工事は656件(全体の78%)となっている。 ・(③)加算点が1位の場合、価格逆転する件数割合が多い。平成20年度と比較すると、特別簡易型、簡易型で増加している。
① 価格:加算点=1位:1位	73 (43%)	64 (36%)	9 (26%)	146 (38%)	181 (29%)	61 (31%)	7 (30%)	249 (30%)		
② 価格:加算点=1位:2位以下	23 (13%)	12 (7%)	0 (0%)	35 (9%)	59 (10%)	14 (7%)	2 (9%)	75 (9%)		
③ 価格:加算点=2位以下:1位	60 (35%)	74 (42%)	24 (71%)	158 (41%)	297 (48%)	98 (50%)	12 (52%)	407 (48%)		
④ 価格、加算点ともに1位以外	16 (9%)	26 (15%)	1 (3%)	43 (11%)	84 (13%)	24 (12%)	2 (9%)	110 (13%)		
9. 評価基準価格を下回った件数(件)									・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。 ・評価基準価格を設定していなかった場合、落札者が逆転する件数及び割合。	・評価基準価格適用件数の割合が70%近くあり、平成20年度と比べてかなり増加している。 ・落札者逆転割合は合計で30%を超えており、平成20年度と比べて増加している。
件数	68	79	21	168	423	132	16	571		
件数/試行件数(%)	39.5%	44.9%	61.8%	44.0%	68.1%	67.0%	69.6%	67.9%		
うち落札者逆転	25	5	2	32	162	26	3	191		
落札者逆転件数/件数(%)	36.8%	6.3%	9.5%	19.0%	38.3%	19.7%	18.8%	33.5%		
10. 低入札価格調査の対象件数(件)									・低入札対策として配置技術者の複数配置等を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。 ・低入札価格調査対象の発生割合が平成20年度より低くなっている。 ・低入札案件の内、契約した割合が平成20年度より少なくなっている。(失格基準等に該当し、低入札案件として契約まで至らない件数が多い。)	
a 基準を下回った低入札案件	29	24	4	57	85	24	1	110		
a 低入札件数/対象件数(%)	17.7%	14.9%	17.4%	16.4%	13.7%	12.2%	4.3%	13.1%		
a 失格基準該当	10	5	1	16	50	19	1	70		
a 辞退	8	3	0	11	19	2	0	21		
b 低入札調査実施	17	18	3	38	21	4	0	25		
c 低入札調査で失格	0	3	0	3	0	0	0	0		
(b-c)/a 低入札案件の内、契約した件数の割合	58.6%	62.5%	75.0%	61.4%	24.7%	16.7%	0.0%	22.7%		

## 平成21年度における総合評価方式の実施状況について

### 対象工事…平成21年4月～21年10月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H20				H21				備考	結果	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
11. 失格基準に該当した工事件数(件)											
低入札価格調査制度	26	10	2	38	50	17	1	68		・失格基準に該当し、失格者の出た工事の割合は約8%となっており、平成20年度に比べて低くなっている。	
施工体制事前提出方式	1	6	2	9	0	2	0	2			
上記合計	27	16	4	47	50	19	1	70			
上記合計/試行件数(%)	15.7%	9.1%	11.8%	12.3%	8.1%	9.6%	4.3%	8.3%			
12. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%) (配点は特別簡易型の例(35点満点))											
企業の技術力	施工能力(1点)	78%	80%	79%	79%	80%	84%	75%	81%	(特別簡易型は3点)	・優良工事の得点割合が低い。 ・施工能力、工事成績、品質管理の得点割合が高い。 ・技術者確保数の得点割合が平成20年度に比べてかなり高くなっている。
	工事成績(1点)	67%	76%	74%	72%	65%	64%	56%	64%	(特別簡易型は3点)	
	優良工事(1点)	10%	18%	22%	15%	12%	21%	24%	14%	(特別簡易型は3点)	
	品質管理(0.5点)	/	67%	90%	72%	/	74%	81%	74%		
	技術者確保数(0.5点)	/	42%	43%	42%	/	86%	68%	84%		
	技能士(0.5点)	/	12%	7%	11%	/	5%	7%	5%	上記で得点できない場合	
○H21小計(4点)									(特別簡易型は9点)		
配置技術者の技術力	施工能力(1点)	/	52%	60%	54%	/	56%	52%	56%		・優良工事の得点割合が低い。 ・施工能力、資格保有年数の得点割合が高い。 ・継続教育(CPD)への参加割合が少ない。
	工事成績(1点)	/	41%	35%	40%	/	35%	24%	34%		
	優良工事(1点)	/	5%	6%	5%	/	5%	4%	5%		
	資格保有年数(0.5点)	/	62%	70%	64%	/	60%	64%	60%		
	継続教育(0.5点)	/	/	/	/	/	4%	1%	4%	上記で得点できない場合	
	○H21小計(3.5点)										
企業に対する地域社会	障がい者雇用(0.5点)	/	30%	42%	32%	/	38%	37%	38%		
	安全管理(0.5点)	/	40%	60%	44%	/	43%	48%	44%		
	環境配慮(0.5点)	/	16%	36%	20%	/	25%	33%	26%		

## 平成21年度における総合評価方式の実施状況について

対象工事…平成21年4月～21年10月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H20				H21				備考	結果	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
企業の地域社会に対する貢献度	県内業者活用(1点)	/	94%	58%	87%	/	88%	71%	87%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内業者活用の得点割合が高い。</li> <li>・子育て応援、仕事と生活の調和、新分野進出が平成20年度に比べて増えてきた。</li> <li>・標準型は、2億円以上の工事が対象で、県外業者の参加が多いため、特別簡易型、簡易型に比べて得点割合が低い傾向がある。</li> </ul>
	本店等所在地(2.5点)	87%	84%	51%	82%	81%	80%	60%	80%	(特別簡易型は2点)	
	同一市町村実績(2.5点)	83%	78%	53%	78%	76%	58%	77%	72%	(特別簡易型は2点)	
	ボランティア(2点)	64%	75%	52%	68%	66%	73%	53%	67%	(特別簡易型は1点)	
	子育て応援(0.5点)	/	10%	12%	10%	/	22%	21%	22%		
	仕事と生活の調和(0.5点)	/	40%	44%	41%	/	56%	42%	55%		
	新分野(1点)	/	27%	31%	28%	/	40%	38%	40%		
	除雪・維持補修(2.5点)	65%	70%	34%	64%	59%	62%	44%	59%		
	災害出動(2.5点)	63%	69%	48%	64%	53%	61%	48%	54%		
	災害応援協定(1.0点)	/	/	/	/	14%	28%	13%	14%	上記で得点できない場合	
	消防団継続加入(1.0点)	/	/	/	/	26%	34%	38%	28%		
	消防団継続加入(0.5点)	/	/	/	/	34%	32%	13%	33%		
○H21小計(17.5点)									(特別簡易型は11点)		
施工計画	施工計画(10点)	/	4.3点	4.1点	4.3点	/	5.1点	4.8点	5.0点	入札参加者平均得点	
	○H21小計(10点)										
標準型	技術提案(10点又は20点)	/	/	7.9点(1項目10点)	11.5点(1項目20点)	/	/	4.6点(1項目10点)	7.2点(1項目20点)	入札参加者平均得点	
備考	<p>○平成20年度との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均落札率がやや高くなっている。</li> <li>・評価基準価格の適用件数がかなり増えている。</li> <li>・加算点が1位で価格逆転する割合が増加している。</li> </ul> <p>○平成21年11月の主な見直し内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別簡易型における企業の技術力評価の基準を見直した。</li> <li>・災害応援協定締結実績の配点を1.0点から2.0点に高めた。</li> <li>・「除雪・維持補修業務の履行実績」は、一般土木・舗装工事の評価対象項目に限定した。</li> <li>・「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」を新たに評価項目として設定した。</li> <li>・新設2項目と「災害対応又は災害応援協定締結実績」、「除雪・維持補修業務の履行実績」(一般土木・舗装工事)は選択対象項目とし、入札参加者がこの中から2項目を選択できるものとした。</li> </ul>										